

評価項目			評価結果
II-1-(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。			
12	① 養育・支援の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。		b
着眼点	<input type="radio"/>	1	施設長は、養育・支援の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。
	<input type="radio"/>	2	施設長は、養育・支援の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。
	<input type="radio"/>	3	施設長は、養育・支援の質の向上について施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。
	<input type="radio"/>	4	施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。
	<input type="radio"/>	5	施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。
	<input type="radio"/>	6	(5種別共通) 施設長は、職員の模範となるように、自己研鑽に励み、専門性の向上に努めている。
コメント	<p>■取組状況 養育・支援の質向上のため、前回の第三者評価結果を踏まえた課題改善に取り組み、人権擁護のためのチェックリストを活用し、年2回職員の個人評価を実施している。その結果を評価委員会で分析し、改善に取り組んでいる。職員の意見を反映させるため、ケース会議や寮会議、運営会議などに施設長が参加し、毎月面談の機会を設けている。また、施設内外の研修を通じて職員の教育・研修の充実を図り、施設長自身も研修を受講して専門性の向上に努めている。</p> <p>■改善課題 養育・支援の質の向上について、定められた評価基準にもとづく自己評価を毎年実施することが望まれる。</p>		
13	② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。		a
着眼点	<input type="radio"/>	1	施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。
	<input type="radio"/>	2	施設長は、施設（法人）の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。
	<input type="radio"/>	3	施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、施設内に同様の意識を形成するための取組を行っている。
	<input type="radio"/>	4	施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。
コメント	<p>■取組状況 経営改善と業務実効性向上のため、労務は社労士に相談し、財務は公認会計士の助言を得て月次報告を作成し分析、そして人事は運営会議を経て理事会で決定される。スーパーバイザーを配置し、各専門職員の配置や増員、通勤手当の増額など、働きやすい環境の整備に取り組んでいる。業務効率向上のため、ネットワークシステム導入やZ o o m参加を認め、遠隔地の職員も会議に参加可能としている。また、運営会議や三役会議で施設長が職員の意見を聴き、対応している。職員自己評価では、専門職の配置と支援のスムーズさ、施設長の対応に対して高評価のコメントが寄せられている。</p>		

評価項目			評価結果
Ⅱ－２ 福祉人材の確保・育成			
Ⅱ－２－（１） 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。			
14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。		a
着眼点	<input type="radio"/>	1 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。	
	<input type="radio"/>	2 養育・支援に関わる専門職（有資格の職員）の配置等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。	
	<input type="radio"/>	3 計画にもとづいた福祉人材の確保や育成が実施されている。	
	<input type="radio"/>	4 施設（法人）として、効果的な福祉人材確保（採用活動等）を実施している。	
	<input type="radio"/>	5 (5種別共通) 各種加算職員の配置に積極的に取り組み、人員体制の充実に努めている。	
コメント	<p>■取組状況</p> <p>「職員研修実施要綱」を整備し、職員の資質向上と組織的な専門性構築を目指し、基本方針、専門性の要求、研修委員会の設置、個々の研修計画作成、施設内研修カリキュラム、福祉人材や人員体制が明記されている。地域小規模男子寮開設に向けて、計画に基づき正規職員を5カ月前に正規職員5名を採用し、初任者研修や本体施設の業務を通じたOJT研修を充採用し、OJT研修を通じて職員を育成している。人材確保のため、ハローワークや福祉人材バンク、就職フェアを活用して職員を採用し、心理療法担当職員や被虐待児個別対応職員、里親支援専門相談員の各種加算職員や自立支援担当職員を配置し、資格取得費用の補助等で人員体制の充実に努めている。</p>		
15	② 総合的な人事管理が行われている。		b
着眼点	<input type="radio"/>	1 法人、施設の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にし、職員自らが将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みができている。	
	<input type="radio"/>	2 人事基準（採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準）が明確に定められ、職員等に周知されている。	
	<input type="radio"/>	3 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。	
	<input type="radio"/>	4 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。	
	<input type="radio"/>	5 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。	
コメント	<p>■取組状況</p> <p>「期待する職員像」として8項目の素養を掲げ、児童に寄り添い積極的に支援を行動できる職員を求めている。パンフレットでは、「児童の権利擁護を前提に、児童が職員に大切にされると実感できる支援ができる職員」を目指すことが記載されている。人事異動やシフト勤務については、職員の意向を面談で確認し、適切に配置している。処遇改善については、三役会議で評価・分析し、資格手当や福祉専門職手当を支給し、夜勤手当や通勤手当についても改善が図られている。</p> <p>■改善課題</p> <p>職員の採用と異動等については就業規則で、特別昇給については給与規程で定めているが、職員の採用や配置、異動、昇進、昇格等に関する人事基準を作成し、基準に基づいた成果や貢献度等の評価を実施することが望まれる。</p>		

評価項目		評価結果
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a
着眼点	<input type="radio"/> 1	職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。
	<input type="radio"/> 2	職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。
	<input type="radio"/> 3	職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。
	<input type="radio"/> 4	定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の相談窓口を施設内に設置するなど、職員が相談しやすいような仕組みの工夫をしている。
	<input type="radio"/> 5	職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。
	<input type="radio"/> 6	ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。
	<input type="radio"/> 7	改善策については、人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し、実行している。
	<input type="radio"/> 8	福祉人材の確保、定着の観点から、施設の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。
コメント	<p>■取組状況 施設長が職員の労務管理責任者として、タイムカードで勤務状況を把握し、有給や時間外労働を管理している。職員の相談窓口は養護課長で、心理士や主任も対応している。「職員メンタルヘルス対策要綱」に基づき、施設長は給与明細を手渡し、意見や要望を聴取する。福利厚生にはインフルエンザ予防接種補助や退職金制度があり、育児・介護休業規程ではワークライフ・バランスに配慮している。職員の体制強化や研修、交流会なども行い、職員の健康とチームワークの向上を目指している。児童相談所も含めた他施設の職員との交流会参加者に施設長が補助を出している。</p>	
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	c
着眼点	<input type="radio"/> 1	施設として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。
	<input type="radio"/> 2	個別面接を行う等施設の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標（目標項目、目標水準、目標期限）が明確かつ適切に設定されている。
	<input type="radio"/> 3	職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。
	<input type="radio"/> 4	職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末（期末）面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。
コメント	<p>■取組状況 職員一人ひとりの育成に向けて「期待する職員像」を明確にし、施設長が毎月、職員一人ひとりとの面談を実施している。</p> <p>■改善課題 「期待する職員像」の達成に向けて、職員一人ひとりに目標（目標項目、目標水準、目標期限）を設定させ、設定した目標について年2回の面接による目標達成度の確認が望まれる。</p>	

評価項目			評価結果
18	②	職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b
着眼点	<input type="radio"/>	1 施設が目指す養育・支援を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。	
	<input type="radio"/>	2 現在実施している養育・支援の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、施設が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。	
	<input type="radio"/>	3 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。	
	<input type="radio"/>	4 定期的に計画の評価と見直しを行っている。	
	<input type="radio"/>	5 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。	
コメント	<p>■取組状況 「職員研修実施要綱」では、職員の専門性向上を目的に、児童への支援に必要な知識や技術の向上を図ることを明示している。特に愛着障害や発達障害、虐待の影響に関する理解や、支援方法の習得を求め、資格取得の支援体制も整えている。施設内外で研修が実施され、職員は全国や県内の専門研修に参加し、実践的な知識を深めている。また、OJT研修は職員の意見を反映させ、定期的に見直しが行われている。</p> <p>■改善課題 「職員研修実施要綱」（研修計画）への「期待される職員像」全文の追記、及び年度の施設内研修計画の作成が望まれる。</p>		
19	③	職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	a
着眼点	<input type="radio"/>	1 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。	
	<input type="radio"/>	2 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。	
	<input type="radio"/>	3 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。	
	<input type="radio"/>	4 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。	
	<input type="radio"/>	5 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。	
	<input type="radio"/>	6 (5種別共通) スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性や施設の組織力の向上に取り組んでいる。	
コメント	<p>■取組状況 職員の資格証は事務長が管理し、資格手当や福祉専門職手当を支給している。新人職員は施設内新任研修や県社協主催の新人研修を受け、寮職員向けのOJT研修にはスーパーバイザーとして参加が指導を行っている。職員は階層別や職種別の研修にも参加し、必要な知識や技術を習得している。外部研修の情報は提供され、個別の年間研修計画が作成されている。また、施設内でスーパーバイズ研修やCAP研修が実施され、心理専門の参加が支援を行い、支援の質向上に取り組んでいる。</p>		

評価項目			評価結果
II-2-(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。			
20	①	実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a
着眼点	<input type="radio"/>	1 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。	
	<input type="radio"/>	2 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。	
	<input type="radio"/>	3 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。	
	<input type="radio"/>	4 指導者に対する研修を実施している。	
	<input type="radio"/>	5 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。	
コメント	<p>■取組状況 「実習生受入要綱」が作成され、基本姿勢や受け入れ手順が明示されている。専門職種に配慮したプログラムを用意し、毎年社会福祉士や保育士の実習生を受け入れている。実習指導者は指導者養成研修を終了した担当で、手順に沿って実習生の受け入れを行い、学校や学生と調整をしている。</p>		
II-3 運営の透明性の確保			
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。			
21	①	運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a
着眼点	<input type="radio"/>	1 ホームページ等の活用により、法人、施設の理念や基本方針、養育・支援の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。	
	<input type="radio"/>	2 施設における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公開している。	
	<input type="radio"/>	3 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公開している。	
	<input type="radio"/>	4 法人、施設の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人、施設の存在意義や役割を明確にするように努めている。	
	<input type="radio"/>	5 地域へ向けて、理念や基本方針、施設で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。	
コメント	<p>■取組状況 施設はホームページで理念、基本方針、日課、行事、決算情報などを公開し、第三者評価の結果も公開されている。法人・施設の概要を示したパンフレットや広報誌を発行し、保護者には郵送している。施設長は地域の民生委員や児童委員として活動し、施設の役割を地域に伝えており、関係機関には情報提供を行っている。</p> <p>■改善課題 苦情・相談については、公開されているが、体制についてホームページでの公開を期待したい。</p>		

評価項目		評価結果
22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a
判断基準	a	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。
	b	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われているが、十分ではない。
	c	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われていない。
	n	わからない、判断できない。
着眼点	<input type="radio"/> 1	施設（法人）における事務、経理、取引等に関するルール、職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。
	<input type="radio"/> 2	施設（法人）における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。
	<input type="radio"/> 3	施設（法人）の事業、財務について、外部の専門家による監査支援等を実施している。
	<input type="radio"/> 4	外部の専門家による監査支援等の結果や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。
コメント	<p>■取組状況</p> <p>施設では、事務、経理、取引に関する権限・責任を定款や規定で明確化し、決裁規則や経理規程に基づき運営している。公認会計士・税理士資格を持つ監事の指導により、事務員が月次報告書を作成し報告している。事業報告や計算書類の監査当日配布について指摘を受け、事前郵送などの改善措置を実施している。</p>	
II-4 地域との交流、地域貢献		
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a
着眼点	<input type="radio"/> 1	地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。
	<input type="radio"/> 2	子どもの個別状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、必要があれば職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。
	<input type="radio"/> 3	施設や子どもへの理解を得るために、地域の人々に向けた日常的なコミュニケーションを心がけている。
	<input type="radio"/> 4	子どもの買い物や通院等日常的な活動についても、定型的でなく個々の子どものニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。
	<input type="radio"/> 5	(児童養護施設) 学校の友人等が施設へ遊びに来やすい環境づくりを行っている。
コメント	<p>■取組状況</p> <p>「地域との交流要綱」には地域との関わり方や注意事項が明記されており、職員と入所児童が地域行事に参加している。地域住民としてハーレー大会、美化作業、運動会に参加し、自治会から新1年生に入学祝い金が支給されている。PTA活動や部活には職員が関わり、シフト調整を行いながら参加している。地域の見守り活動や高齢者支援にも関与し、施設長は民生委員や児童委員として地域活動に参加している。施設では、職員が子どもと共に買い物や通院を行い、友人たちが遊びに来る場面も見られる。</p>	

評価項目			評価結果
24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし、体制を確立している。		b
着眼点	<input type="radio"/>	1 ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。	
		2 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化して取り組んでいる。	
	<input type="radio"/>	3 ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。	
	<input type="radio"/>	4 ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。	
コメント	<p>■取組状況 ボランティア受け入れの基本姿勢や手順が要綱で明文化され、注意事項の説明や見守り体制が整備されている。長期活動する学習ボランティアがおり、守秘義務誓約書の提出を徹底している。また、地域学校の依頼で心理療法担当職員と養護課長がストレスマネジメント講話を実施するなど、地域連携も行っている。</p> <p>■改善課題 地域の学校教育等への協力について、「ボランティアの受け入れ実施要綱」に基本姿勢を明文化が望まれる。</p>		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。			
25	① 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。		a
着眼点	<input type="radio"/>	1 当該地域の関係機関・団体について、個々の子どもの状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。	
	<input type="radio"/>	2 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。	
	<input type="radio"/>	3 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。	
	<input type="radio"/>	4 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/>	5 地域に適切な関係機関・団体がない場合には、子どものアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。	
コメント	<p>■取組状況 関係機関連絡先やバス時刻表を作成し、掲示している。職員は専門職連絡会に参加し、2ヵ所の児童相談所とは年2回の集まりで施設ケアを検討している。子どもや家族の状況把握を行い、アフターケア相談室に繋ぐ体制を整備。施設長と養護課長は学校連絡会やカンファレンスを通じて学校と連携し、地域の民生委員・児童委員活動にも参加している。会議内容は全体会議で職員に共有している。</p> <p>着眼点5は、地域に関係機関・団体があり、評価対象外とする。</p>		

評価項目			評価結果
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。			
26	① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。		b
着眼点	<input type="radio"/>	1 施設（法人）が実施する事業や運営委員会の開催、関係機関・団体との連携、地域の各種会合への参加、地域住民との交流活動などを通じて、地域の福祉ニーズや生活課題等の把握に努めている。	
	<input type="radio"/>	2 施設のもつ機能を地域へ還元したり、地域の関係機関・団体との連携を通して、地域の具体的な福祉ニーズの把握に努めている。	
	<input type="radio"/>	3 地域住民に対する相談事業などを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。	
コメント	<p>■取組状況 施設職員や入所児童は地域行事に積極的に参加し、施設長も民生委員活動に携わっている。法人が小規模施設近くに設置した児童家庭支援センターと連携し、ヤングケアラーや不登校児、居場所不足、転居を繰り返す世帯への支援など地域の福祉課題を把握し対応している。また、民生委員の要請に応じて業務内容や里親制度の説明を行い、多様な相談に対応している。</p> <p>■改善課題 施設のもつ専門性を活かして、地域の関係機関・団体との連携を通して、地域の具体的な福祉ニーズの把握するために、さらなる取組が望まれる。</p>		
27	② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。		c
着眼点		1 把握した福祉ニーズ等にもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。	
		2 把握した福祉ニーズ等にもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。	
	<input type="radio"/>	3 多様な機関等と連携して、社会福祉分野のみならず、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどにも貢献している。	
	<input type="radio"/>	4 施設（法人）が有する養育・支援に関するノウハウや専門的な情報を、地域に還元する取組を積極的に行っている。	
	<input type="radio"/>	5 地域の防災対策や被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のための備えや支援の取組を行っている。	
コメント	<p>■取組状況 施設は、地域行事や美化活動に積極的に参加し、コンサートや周年感謝祭を通じて地域住民との交流を深めている。児童家庭支援センターと連携し、福祉ニーズを把握しながら依存症回復者の講演会やゲートキーパー講習会、児童生徒向けストレスマネジメント授業の講師を行うなど、地域支援を実施している。民生委員の要望に応じた専門的説明や里親制度の普及活動、災害時の避難場所提供の申請も行い、子ども会の提案を受けて部活動参加の調整を実現するなど、地域福祉と住民支援に貢献している。</p> <p>■改善課題 施設独自の主体的な取組等により、組織として地域の具体的な福祉ニーズを把握し、これらを解決・改善するための施設による公益的な事業・活動の実施することが望まれる。（例 栄養士による災害時の食事備蓄や調理方法の研修など） 着眼点1が確認できないため、判断基準により評価はCとなる。</p>		

評価項目			評価結果
Ⅲ 適切な養育・支援の実施			
Ⅲ-1 子ども本位の養育・支援			
Ⅲ-1- (1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。			
28	① 子どもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。		a
着眼点	<input type="radio"/>	1	理念や基本方針に、子どもを尊重した養育・支援の実施について明示し、職員が理解し、実践するための取組を行っている。
	<input type="radio"/>	2	子どもを尊重した養育・支援の実施に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し、実践するための取組を行っている。
	<input type="radio"/>	3	子どもを尊重した養育・支援の実施に関する基本姿勢が、個々の支援の標準的な実施方法等に反映されている。
	<input type="radio"/>	4	子どもの尊重や基本的人権への配慮について、施設で勉強会・研修を実施している。
	<input type="radio"/>	5	子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。
コメント	<p>■取組状況</p> <p>施設では、各種マニュアルを整備し、毎月の寮会議で倫理綱領を読み合わせるとともに、CAPワークショップやスーパーバイザー研修、OJT研修を通じて子どもの人権に関する学びを深めている。全職員が参加できるよう研修を2回に分ける配慮がなされている。養育支援方針には子どもを尊重する基本姿勢が反映され、医療受診や支援学級申請では保護者と子どもの同意を得て支援を進めている。子どもの自主的な表現を促すための仕組みや「ありがとうの木」など、感謝を共有する活動も行っている。「人権擁護チェックリスト」に基づく年1回の人権チェックを実施し、結果は全体会議で報告・周知され、課題への対応が行われている。今年度からは意見表明支援としてアドボカシー制度を毎週受け入れている。紙芝居形式の幼児用権利ノートを作成し、小学生・中高生向けと発達段階に応じた権利ノートを作成中である。</p>		
29	② 子どものプライバシー保護に配慮した養育・支援が行われている。		a
着眼点	<input type="radio"/>	1	子どものプライバシー保護について、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務等を明記した規程・マニュアル等が整備され、職員への研修によりその理解が図られている。
	<input type="radio"/>	2	規程・マニュアル等にもとづいて、プライバシーに配慮した養育・支援が実施されている。
	<input type="radio"/>	3	一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守れるよう設備等の工夫を行っている。
	<input type="radio"/>	4	子どもや保護者等にプライバシー保護に関する取組を周知している。
コメント	<p>■取組状況</p> <p>施設では「入所児童プライバシー保護に関する要綱」を策定し、入所時に「なごみ説明資料」を用いてプライバシー保護の内容を子どもに伝えている。職員は入職時に守秘義務の誓約書を提出し、OJT研修でプライバシー保護を学んでいる。権利ノートの読み合わせを入所時と年2回実施し、プライバシー保護について子どもたちに周知している。小規模施設では個室を提供し、大部屋ではパーテーションを設置するなど、生活環境の改善に努めている。外部資料ではイニシャル表記を徹底し、個人情報の保護を図っている。</p>		

評価項目			評価結果
Ⅲ-1-(2) 養育・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。			
30	①	子どもや保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	a
着眼点	<input type="radio"/>	1	理念や基本方針、養育・支援の内容や施設の特性等を紹介した資料を準備している。
	<input type="radio"/>	2	施設を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。
	<input type="radio"/>	3	施設に入所予定の子どもや保護者等については、個別に丁寧な説明を実施している。
	<input type="radio"/>	4	見学等の希望に対応している。
	<input type="radio"/>	5	子どもや保護者等に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。
コメント	<p>■取組状況 施設は、理念や基本方針、重点目標、期待される職員像を明記したパンフレットを作成し、絵やイラストを用いて分かりやすく施設を紹介している。入所時には、子どもには写真や読みやすい文字を使用した「なごみ説明資料」や「園だより」を活用して説明を行い、保護者には同資料を配布または郵送し、必要な情報を提供している。保護者の希望があれば、養護課長が部屋の見学対応を行っている。パンフレットや資料は小規模施設についても記載し、適宜見直しを行っている。</p> <p>■改善課題 「なごみの約束事」にもルビを振ることを期待したい。</p>		
31	②	養育・支援の開始・過程において子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	a
着眼点	<input type="radio"/>	1	子どもや保護者等が自らの状況を可能な限り認識し、施設が行う養育・支援についてできるだけ主体的に選択できるよう、よりわかりやすくなるような工夫や配慮をして説明している。
	<input type="radio"/>	2	養育・支援の開始・過程における養育・支援の内容に関する説明と同意にあたっては、子どもや保護者等の自己決定を尊重している。
	<input type="radio"/>	3	養育・支援の開始・過程においては、子どもや保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。
	<input type="radio"/>	4	意思決定が困難な子どもや保護者等への配慮についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。
コメント	<p>■取組状況 入所時の受入れは「児童入所時の受入れ要綱」に基づき、児童相談所の説明や自己決定を尊重して実施される。同意書は児童相談所からのコピーを保管し、療育や特別支援学級申請は子どもと保護者の同意を得て進める。意思決定が困難な子どもや保護者には、分かりやすい説明と資料提供を行い、理解を促している。</p> <p>■改善課題 意思決定が困難な子どもや保護者等への配慮についてのルールの明文化に期待したい。</p>		